

(別紙様式第 5 号)

オプトアウト情報（病院ホームページに掲載、各診療科に掲示）

研究課題名 (倫理委員会受付番号)	電気けいれん療法の多施設実績報告を用いた国内動向集計および発作誘発困難症例対策の検証に関する研究 (2024-117D)
当院の研究責任者	精神科 小藺江 浩一
代表研究機関 代表研究者	山梨大学 医学部精神神経学講座 : 安田 和幸
研究の目的	① 本邦の臨床現場における ECT の対象疾患と病態、用いられている技法についての現況と推移を明らかにする疫学的調査を行う ② ECT における治療効果、忍容性と関連する因子(診断、病態、治療パラメータ)をしらべる ③ 発作誘発困難症例において、BL→RUL 切り替えは発作誘発を可能にする対策として妥当であるかどうか、安全な方法であるかどうか検証する
研究期間	研究機関の長の許可日～2027 年 3 月 31 日
研究の方法 (使用する試料等)	1) 主治医はあなた、またはあなたのご家族に関連した情報を、匿名化した後に専用のデータベースへ入力します。 2) 山梨大学は収集されたデータベースを解析して、発作誘発困難症例の臨床経過を検討します。 3) 解析結果は、迅速にグラフ化などの可視化がなされ、山梨大学ホームページ等で公開されます。 4) 解析結果は、共同研究として学会発表され医学雑誌に掲載されます。
試料/情報の他の研究機関への提供及び提供方法	各施設より取得する情報は、あなた個人が特定される情報は記載せず、山梨大学へ集約されます。
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所、受診日等の患者さまを直接特定できる個人情報は削除します。また、患者さまを特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問い合わせ先 (院内)	電話：0242-27-5511 研究責任者：小藺江 浩一
備考	本試験の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用又は提供されることを希望されない場合は、上記の問い合わせ先にお問い合わせください。なお、協力いただかない場合でも患者様に不利益は一切ございません。